

緑小学校

月	《単元名・教材名》	時数	《単元目標》	観点別評価規準		
				知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4	1 家族の生活再発見 A(1)ア 教:p.8・9	1	○これまでの自分の生活が家族に支えられてきたことに気づく。  ○生活を支える家族の仕事はさまざまあり、家族の協力が必要なことが分かる。	・自分の成長を自覚し、家庭生活と家族の大切さに気付いている。 ・家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付いている。 ・家庭には、家庭生活を支える仕事があり、互いに協力し、分担する必要があることを理解している。		・家庭生活と仕事について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。
4・5	4 整理・整頓で快適に B(6)ア(イ), イ C(2)ア 教:p.28～33	4	○整理・整頓の仕方について問題を見いだして課題を設定する。  ○整理・整頓の仕方を理解しているとともに、適切に行う。 ○整理・整頓の仕方について実践に向けた計画を考え工夫する。 ○環境に配慮した物の使い方について理解する。 ○整理・整頓の仕方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとする。	・住まいの整理・整頓の仕方を理解しているとともに、適切にできる。 ・環境に配慮した物の使い方について理解している。	・整理・整頓の仕方について問題を見いだして課題を設定している。 ・整理・整頓の仕方について実践に向けた計画を考え、工夫している。 ・整理・整頓の仕方について、実践を評価したり、改善したりしている。	・整理・整頓の仕方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・整理・整頓の仕方について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・整理・整頓の仕方について工夫し、実践しようとしている。
5・6	3 ソーイングははじめの一步 B(4)ア(イ) B(5)ア(ア), (イ) C(2)ア, イ 教:p.20～27	11	○疑問点や調べたいことをもとに、課題を設定する。 ○玉結び、玉どめの役割が分かり、玉結び・玉どめができる。 ○なみ縫い、返し縫い、かがり縫いそれぞれの縫い方の役割や、ボタンのつけ方が分かり、目的に合った縫い方やボタンつけができる。 ○なみ縫い、返し縫い、かがり縫いで小物を作ることができる。 ○これまでの学習をふり返り、できるようになったことを自覚したり、製作への意欲をさらに高めたりする。	・手縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。 ・手縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。	・生活を豊かにするために布を用いた物の製作について問題を見いだして課題を設定している。 ・生活を豊かにするための布を用いた物の製作について、実践を評価したり、改善したりしている。 ・生活を豊かにするための布を用いた製作についての課題解決に向けた一連の活動について、考えたことを分かりやすく表現している。	・手縫いによる目的に応じた縫い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・手縫いによる目的に応じた縫い方について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・手縫いによる目的に応じた縫い方について工夫し、実践しようとしている。
7	5 できるよ、家庭の仕事 A(2)ア C(2)ア 教:p.34～36	2	○学んだことを生かして自分にできる家庭の仕事を見つける。  ○見つけた仕事に取り組む計画を立て、実行することができる。  ○自分の仕事として、家族と協力して続けることができる。	・家庭には、家庭生活を支える仕事があり、互いに協力し分担する必要があることを理解している。	・家庭の仕事について問題を見いだして課題を設定している。 ・家庭の仕事について、実践に向けた計画を考え、工夫している。  ・家庭の仕事について、実践を評価したり、改善したりしている。	・家庭の仕事について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・家庭の仕事について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・家庭の仕事について工夫し、実践しようとしている。
8・9・10	6 ミシンでソーイング B(5)ア(ア), (イ) 教:p.38～47	13	○身の回りの生活にはミシンで作られているものが多いことに気づき、ミシンに関心を持ち、ミシン縫いの特徴が ○ミシンの安全な使い方を知り、ミシンの準備やから縫いができる。  ○ミシンを使って布を用いて製作するものを考え、製作計画を立てて製作し、活用することができる。	・ミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。 ・製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解している。 ・ミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。	・生活を豊かにするために、布を用いた物の製作(ミシン縫い)について問題を見いだして課題を設定している。 ・生活を豊かにするために、布を用いた物の製作について、製作計画を考え工夫している。	・ミシン縫いによる目的に応じた縫い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・ミシン縫いによる目的に応じた縫い方について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・ミシン縫いによる目的に応じた縫い方について工夫し、実践しようとしている。
11	2 クッキングははじめの一步 B(2)ア(ア), (イ), (ウ), (エ) B(2)イ C(2)ア, イ 教:p.10～19	8	○調理をすることの良さや、調理の流れ、調理用具の使い方が分かる。 ○野菜のゆで方が分かり、ゆでることができる。 ○じゃがいものゆで方が分かり、ゆでることができる。 ○必要な材料や手順を考えゆで野菜サラダの計画を立てることができる。 ○調理に必要な用具や食品を安全で衛生的に取り扱い、ゆで野菜サラダを作ることができる。	・調理の目的が分かり、調理に必要な手順や用具について理解している。 ・調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取扱い及び、加熱調理器具の安全な取扱い、材料に応じた洗い方、調理に適した切り方やゆで方、後片付けについて理解しているとともに、適切にできる。 ・調理に必要な材料の分量や手順が分かり、調理計画について理解している。 ・材料に適したゆで方について理解しているとともに、適切にできる。	・おいしく食べるために、ゆでる調理の仕方について問題を見だし、課題を設定している。 ・おいしく食べるためにゆでる調理の調理計画について考え、工夫している。	・ゆでる調理の仕方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・ゆでる調理の仕方について工夫し、実践しようとしている。
12	7 食べて元気に B(1)ア, (2)ア(ア), (イ), (ウ), (オ), (3)ア(ア), (イ) 教:p.48～56	12	○なぜ食べるのか食事の役割が分かる。 ○ご飯の調理の仕方が分かり、ご飯をたたくことができる。 ○みそ汁の調理の仕方が分かり、みそ汁を作ることができる。 ○食品の栄養的特徴に関心を持ち、五大栄養素の種類と体内でのその働きが分かる。 ○食品に含まれている主な栄養素の主な働きにより、食品を3つのグループに分ける分け方が分かる。 ○毎日の食事に栄養を考えた食事やご飯とみそ汁の調理を生かそう。	・食事の役割が分かり、日常の食事の大切さについて理解している。 ・米飯及びみそ汁が我が国の伝統的な日常食であることを理解している。 ・我が国の伝統的な配膳の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 ・米飯の調理に必要な米や水の分量や計量、調理の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 ・みそ汁の調理に必要な材料の分量や計量、調理の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 ・体に必要な栄養素の種類と主な働きについて理解している。 ・食品の栄養的特徴について理解している。	・おいしく食べるために米飯及びみそ汁の調理の仕方について問題を見いだして課題を設定している。 ・おいしく食べるために米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方についての課題解決に向けた一連の活動について考えたことを分かりやすく表現している。	・伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方や栄養を考えた食事について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方や栄養を考えた食事について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方や栄養を考えた食事について工夫し、実践しようとしている。
1	9 暖かく快適に過ごす着方 B(4) C(2) 教:p.64～67	3	○衣服の主な働きや暖かい着方の特徴に気づく。  ○衣服をどのように着ると健康で快適に過ごせるか、安全に生活できるかなどの衣服の主な働きについて理解 ○日常着の快適な着方を工夫する。	・衣服の主な働きが分かり、季節に応じた日常着の快適な着方について理解している。	・日常着の快適な着方について問題を見いだして課題を設定している。  ・日常着の快適な着方について考え、工夫している。	・衣服の着用についての課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・衣服の着用について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・衣服の着用について工夫し、実践しようとしている。
2	10 暖かく快適に過ごす住まい方 B(6)ア(ア), イ C(2)ア, イ 教:p.68～71	3	○衣服の主な働きや暖かい着方の特徴に気づく。  ○衣服をどのように着ると健康で快適に過ごせるか、安全に生活できるかなどの衣服の主な働きについて理解 ○日常着の快適な着方を工夫する。	・衣服の主な働きが分かり、季節に応じた日常着の快適な着方について理解している。	・日常着の快適な着方について問題を見いだして課題を設定している。  ・日常着の快適な着方について考え、工夫している。	・衣服の着用についての課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・衣服の着用について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・衣服の着用について工夫し、実践しようとしている。
3	11 いっしょにほっとタイム A(1)ア, (3)ア(ア) 教:p.72～74	3	○家族や周囲の人との触れ合いや困らんに関心を持ち、よりよい関わりについて考え、その大切さが分かる。 ○家族や周囲の人々と楽しく過ごすことについて考えたり、自分の生活の中で生かすことを考えたり工夫したりする。	・家族との触れ合いや困らんの大切さについて理解している。	・家族とのよりよい関わりについて問題を見いだして課題を設定している。  ・家族とのよりよい関わりについて実践に向けた計画を考え、工夫している。	・家族とのよりよい関わりについて課題の解決に向けて主体的に取り組んでいる。 ・家族とのよりよい関わりについて課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・家族とのよりよい関わりについて工夫し、実践しようとしている。